

数量総括表

種別	名称	規格	単位	数量	明細書数量	摘要
土工	掘削	BH0. 80m3	m3	114.1	114	①
	床掘	BH0. 13m3	m3	75.3	75	②
	基面整正		m2	26.3	26	
	埋戻	流用土	m3	59.3	59	③
	積込	BH0. 80m3	m3	75.3	75	床掘と同量
	残土処分		m3	130.1	130	①+②-③
擁壁工	壁面組立工	鋼製ユニット	m2	47.3	47.3	
	天端組立工	鋼製ユニット	m	10.5	10.5	
	補強土壁資材	壁面材・補強材 植生マット	式	1.0	1	
	まき出し、敷均し、締固め工	RC-40	m3	111.2	111	
	補強土壁盛土材	RC-40	m3	111.2	111	
	吸出し防止 設置工	t=10mm	m2	45.9	46	
	水平排水材	B=300mm, t=10mm	m	14.0	14.0	
暗渠排水工	暗渠排水材	B=300mm, t=10mm	m	15.0	15.0	
	土中集排水管	有孔管 φ150	m	13.0	13.0	
	排出管		m	2.0	2.0	
	フトンカゴ	B1200×H500×L2000	個	1.0	1	
舗装工	舗装版切断		m	17.0	17	
	舗装取り壊し		m2	36.0	36	
	アスファルト舗装工	t=4cm、再生密粒アスコン	m2	36.0	36	
	上層路盤工	上層7cm、M-30	m2	36.0	36	
	下層路盤工	下層11cm、RC-40	m2	36.0	36	
ガードレール工	既設ガードレール撤去・再設置	土中式	m	10.5	10.5	
産廃処分	殻運搬	アスファルト	m3	1.4	1.4	36.0m <sup>2</sup> ×0.04m
	殻処分	アスファルト	t	3.3	3.3	1.4m <sup>3</sup> ×2.35

# 数量計算表

測点	測点間距離	平均距離	吸出し防止材		埋戻		掘削		床掘		舗装復旧		舗装取壊し		備考
			延長	数量	断面	数量	断面	数量	断面	数量	延長	数量	延長	数量	
	m	m	m	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m	m <sup>2</sup>	m	m <sup>2</sup>	
NO. 0	0	1.00	4.6	4.60	5.9	5.90	12.4	12.40	7.0	7.00	3.63	3.63	3.63	3.63	
NO. 1	2.0	2.50	4.4	11.00	5.3	13.25	11.2	28.00	6.2	15.50	3.58	8.95	3.58	8.95	
NO. 2	3.0	4.25	4.8	20.40	6.4	27.20	13.0	55.25	7.7	32.73	3.72	15.81	3.72	15.81	
NO. 3	5.5	2.75	3.6	9.90	4.7	12.93	6.7	18.43	7.3	20.08	2.75	7.56	2.75	7.56	
合計	10.5	10.5		45.9		59.3		114.1		75.3		36.0		36.0	



# 1. 数量総括表

## 補強土壁工法

### 部材数量 (植生マット仕様)

メッキ品

項目	形状寸法	単位	数量	備考
調整トップマットF	φ6.0*5.0 -200*150目 - 800 * 2000	ユニット	1	ハーフ用
	φ6.0*5.0 -200*150目 -1800 * 2000	ユニット	1	
	φ6.0*5.0 -200*150目 -1800 * 2500	ユニット	4	
ワイヤーマットF	φ6.0*5.0 -200*150目 - 800 * 2000	ユニット	5	ハーフ用
	φ6.0*5.0 -200*150目 -1800 * 2000	ユニット	5	
	φ6.0*5.0 -200*150目 -1800 * 2500	ユニット	27	
バックマットS	7.5*5.0 -100*112目- 2000 * 560	枚	9	端部処理用
植生マット		m	17	端部処理用
水平排水材	B=300mm t=10mm	m	14	
施工歩掛	壁面組立工	m <sup>2</sup>	47.3	
	天端組立工	m	10.5	
	敷均し・締固め工	m <sup>3</sup>	111.2	
	水平排水材設置工	m	14.0	

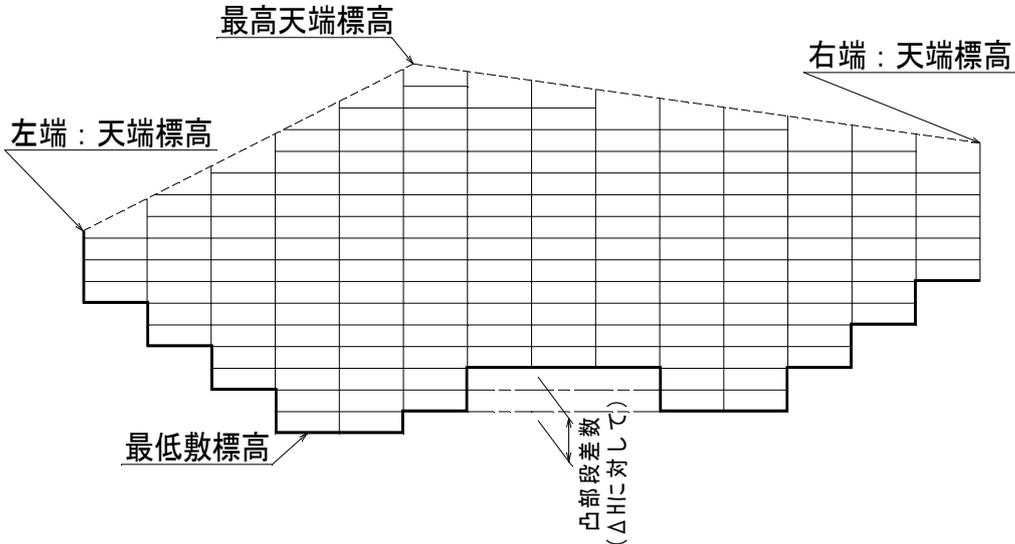
## 暗渠排水工

項目	形状寸法	単位	数量	備考
暗渠集排水材	B=300mm t=10mm	m	15.0	
土中集排水管	有孔管 φ150	m	13.0	
吸出防止材	t=3mm , W=2000mm	m <sup>2</sup>	26.7	
フィルター材	S30	m <sup>3</sup>	3.0	
排出管	無孔管 φ200	m	2.0	
フトンカゴ		個	1	

## バックマット・植生マット（又は不織布） 端部用数量根拠

バックマット：格子鉄網（標準幅2m）の壁面補強部材。ユニットに含まれる。  
壁面段数により端部折返しが生じるので別途、追加計上を行う。

植生マット：植生用マット（又は不織布）。ユニットに含まれる。  
壁面の左右端部に折返し（1箇所=1m）が生じるので別途、追加計上を行う。



バックマット端部用数量：（最高天端標高－最低敷標高）／1段当たり高さΔH ＋凸部段差数

植生マット端部用数量：①（左端天端標高－最低敷標高）／1段当たり高さΔH ←左端部数量  
②（右端天端標高－最低敷標高）／1段当たり高さΔH ←右端部数量  
③ 凸部段差数 × 2 ←凸部端部数量

①＋②＋③合計＝端部数量

ここで今回計画において、

1段当たり高さΔH： 0.600 m  
最高天端標高： 107.031 m  
最低敷標高： 101.700 m  
左端天端標高： 107.031 m  
右端天端標高： 106.008 m  
凸部段差数： 0 箇所 より、

$$\begin{aligned} \text{バックマット端部用} &= (107.031 - 101.7) / 0.6 + 0 \\ &= \underline{\underline{9 \text{ 箇所 (枚)}}} \end{aligned}$$

植生マット端部用 = ①左端部 + ②右端部 + ③凸部端部

$$\begin{aligned} \text{①} &= (107.031 - 101.7) / 0.6 \\ &= 9 \text{ 箇所 (m)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{②} &= (106.008 - 101.7) / 0.6 \\ &= 8 \text{ 箇所 (m)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{③} &= 0 \times 2 \\ &= 0 \text{ 箇所 (m)} \end{aligned}$$

$$\text{植生マット端部用 (①+②+③)} = \underline{\underline{17 \text{ 箇所 (m)}}}$$

## 2. 壁面積

列	寸法 (m)				⑤直面積 (①+②)/2 × (③+④)/2	⑥斜率	壁面積 ⑤×⑥	備考
	①左端高	②右端高	③天端幅	④基礎幅				
1	4.731	4.501	2.000	2.000	9.232	1.020	9.417	
2	4.501	4.315	2.000	2.000	8.816	1.020	8.992	
3	4.915	4.728	2.000	2.000	9.643	1.020	9.836	
4	4.728	4.539	2.000	2.000	9.267	1.020	9.452	
5	3.939	3.845	1.000	1.000	3.892	1.020	3.970	
6	3.845	3.708	1.460	1.460	5.514	1.020	5.624	
合計			10.460	10.460	46.364		47.291	

天端組立工 (天端幅合計) : 10.46 m

地下排水工設置延長 (基礎幅合計) : 10.46 m (小口部を控除)

### 3. 敷き均し・締固め工

列数	1	2	3	4	5	6		合 計
①延長（上端）	2.000	2.000	2.000	2.000	1.000	1.460		
②延長（下端）	2.000	2.000	2.000	2.000	1.000	1.460		
③平均延長 (①+②) / 2	2.000	2.000	2.000	2.000	1.000	1.460		
④調整高（左端）	0.531	0.901	0.715	0.528	0.939	0.845		
⑤調整高（右端）	0.301	0.715	0.528	0.339	0.845	0.708		
⑥平均高 (④+⑤) / 2	0.416	0.808	0.622	0.434	0.892	0.777		
⑦調整部壁面積 (③×⑥)	0.832	1.616	1.244	0.868	0.892	1.134		
⑧ワイヤーマット1段当たり高さ	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6		
調整トップマット	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0		
ワイヤーマット 上段からの配置	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0		
	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0		
	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0		
	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0		
	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0		
	2.5	2.5	2.5	2.5				
	2.5		2.5	2.5				
⑨調整部補強材長	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0		
⑩標準部補強材長 合計	17.5	15.0	17.5	17.5	10.0	10.0		
⑪調整部 敷均し・締固め土量 (⑦×⑨)	2.080	4.040	3.110	2.170	1.784	2.268		
⑫標準部 敷均し・締固め土量 (③×⑧×⑩)	21.000	18.000	21.000	21.000	6.000	8.760		
⑬合計 (⑪+⑫)	23.080	22.040	24.110	23.170	7.784	11.028		111.2

#### 4. 水平排水材

列	算 定 式	敷設長 (m)	備 考
1	2.5 × 1 =	2.5	
2	2.5 × 1 =	2.5	
3	2.5 × 1 =	2.5	
4	2.5 × 1 =	2.5	
5	2.0 × 1 =	2.0	
6	2.0 × 1 =	2.0	
合計		14.0	

## 5. 暗渠排水工

暗渠集排水材	1 箇所当たり長さ × 箇所数 5.0 × 3 =	15.0 (m)
土中集排水管	延長方向+横断方向 (L1) × 箇所数 10.5 + 2.5 × 1 =	13.0 (m)
合計	Σ =	13 (m)
吸出防止材	土中集排水管延長 × 1m当たり面積 13 × 2.05 =	26.65 (m <sup>2</sup> )
フィルター材	土中集排水管延長 × 1m当たり体積 13 × 0.23 =	2.99 (m <sup>3</sup> )
排出管	長さ × 箇所数 2 × 1 =	2.0 (m)
フトンカゴ	n 1 =	1 (個)